

| カデンツァ |

CADENZA

石川県立音楽堂／オーケストラ・アンサンブル金沢 情報誌

新シーズンスタート！
オーケストラ・アンサンブル金沢 定期公演
夏の音楽堂公演ラインナップ
インタビュー ピアニスト 金子三勇士



定期公演 2024→2025 一挙公開!

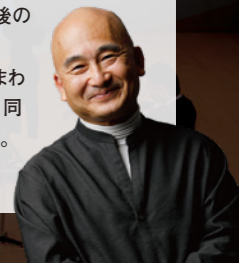


★会員のお申し込みは裏面をご覧ください。

音楽祭ではたくさんの方とお話できて嬉しかったです。髭のことも聞かれました。被災地を想って伸ばし始めた髭ですが、いつ剃れるかなと思っています。私達楽団として出来ることは被災地の皆様に寄り添うことだと思っています。心をこめて演奏をさせていただくことで、少しでも時を忘れるような時間を創らせていただけたらという想いです。楽団員と共に被災地に伺わせていただいたり、被災者の皆様へ音楽を届けたりすることで復興が進展することを願い、被災地に想いを馳せます。2年前に私が就任した際に目標にしました1500席満席の定期公演であり続ける楽団になるという夢が叶うのは5、6年先になりそうですが、道路の地下にあたかきお湯を巡らせるように、活動の基盤をゆくり押し進め、聞きに来てくださるお客様が一人二人と増えていくような努力を新シーズンも続けていこうと思っています。野球やサッカーと同じで、定期公演はオーケストラの公式試合のようなものですから、お金を払って来ていただくことになります。これから先の1、2年は、被災地の復興と共に、OEKが愛される楽団になるかどうかの岐路に立つのではないかと思います。

神様も私達を試しているのではないのでしょうか。マリナズのイチロー選手、ドジャーズの大谷選手、ヤンキースの松井選手のように、それぞれのチームで地域の人々に愛されている彼らを見ていると日本人みんなが勇気づけられるよう、OEKも皆様に愛される楽団になりたいです。今年の特徴としては、日本で注目され、活躍が益々期待される若手指揮者、ソリストたちの共演、OEKパーマネント・コンダクター川瀬賢太郎さんとOEKコンダクター松井慶太さんの成長著しさを見守っていただきたいです。海外から来日する演奏家たちへも関心をお持ちいただきたいですし、そして何より井上道義先生のOEK最後の定期公演を見守っていただき、最後まで聞き届けていただきたいです。公演で全国を回りますが、時が経ち震災が風化し、人々が忘れてしまわないよう、各地で石川県の話をしています。地味な活動ではあっても、同じ場所を何度訪れたとしても今後も同じように話続けていきたいと思います。

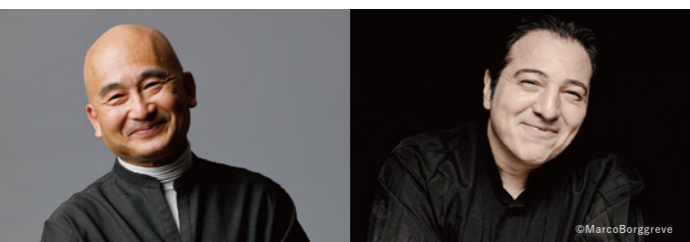
OEKアーティスティック・リーダー 広上淳一



フィルハーモニー・シリーズ (9公演) 音楽を愛する方へ、OEKを堪能できるシリーズ

第484回 2024 **9.17** (火) 19:00

異能の表現者ファジル・サイのベートーヴェン



広上淳一 / 指揮 (OEKアーティスティック・リーダー)
ファジル・サイ (ピアノ)

ベートーヴェン: 「プロメテウスの創造物」序曲
ベートーヴェン: ピアノ協奏曲 第3番 八短調
ベートーヴェン: 交響曲 第4番 変ロ長調

第486回 2024 **10.17** (木) 19:00

モーツァルトと同時代の作曲家たち、次代を牽引する佐藤俊介の弾き振り



佐藤俊介 / 指揮・ヴァイオリン

ヴァンハル: 交響曲 二短調
ミスリヴィツェク: ヴァイオリン協奏曲 ホ長調
モーツァルト: 交響曲 第38番 二長調「ブラハ」

第493回 2025 **5.24** (土) 14:00

OEKが待ち望んだ再共演の鈴木秀美、大スケールの「天地創造」と若手ソリスト達

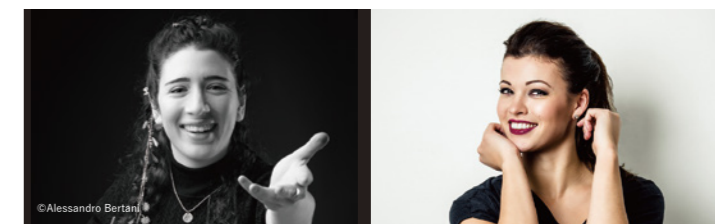


鈴木秀美 / 指揮 中江早希 / ソプラノ
谷口洋介 / テノール 氷見健一郎 / バス
コール・リベロ・クラシコ / 合唱

ハイドン: オラトリオ「天地創造」

第495回 2025 **7.5** (土) 14:00

色彩と陰影のショーケース、コンサートはエンターテインメントだ!

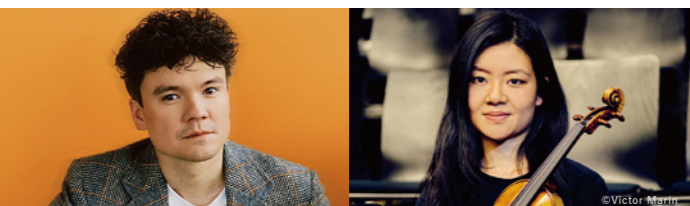


ニル・ヴェンディッティ / 指揮
クセーニャ・シドロフ / アコーディオン*

レスピーギ: ボッティチェリの3枚の絵
ピアソラ: バンドネオン協奏曲「アコンカグア」(アコーディオン版)*
サイ: 3つのバラード* イベール: 室内管弦楽のためのディヴェルティスマン

第488回 2024 **12.5** (木) 19:00

世界が囁望する金川真弓、グランディのドイツ・ロマン派

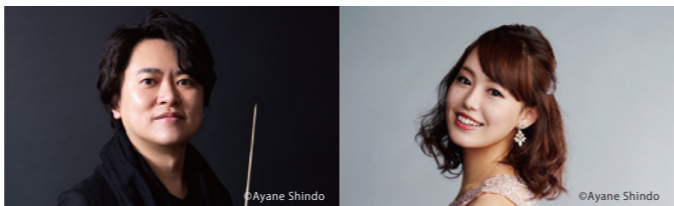


エリヤス・グランディ / 指揮 金川真弓 / ヴァイオリン*

ウェーバー: 歌劇「魔弾の射手」序曲
シューマン: ヴァイオリン協奏曲 二短調*
ブラームス: 交響曲 第4番 ホ短調

第489回 2025 **1.11** (土) 14:00

ニューイヤーコンサート2025、記念年の作曲家大集合!

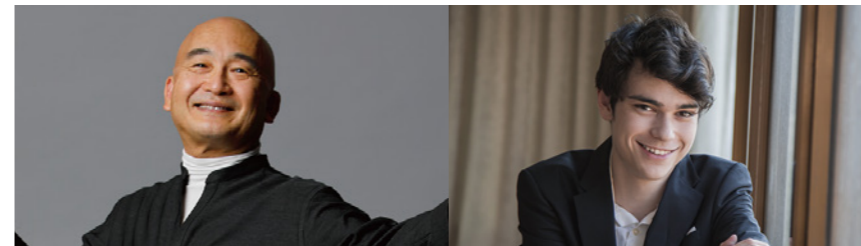


松井慶太 / 指揮 (OEKコンダクター) 鈴木玲奈 / ソプラノ*

ショスタコーヴィチ [没後50年]: タヒチ・トロット
サティ [没後100年]: ジムノペディ (ドビュッシー編)
ビゼー [没後150年]: 歌劇「カルメン」より*
J. シュトラウスII [生誕200年]: 喜歌劇「こうもり」より* ほか

第496回 2025 **9.20** (土) 14:00

広上淳一 満を持しての「田園」、ヨーロッパ中を席卷する新鋭ピアニスト・ボローの「皇帝」とともに



広上淳一 / 指揮 (OEKアーティスティック・リーダー)
トム・ボロー / ピアノ*

ベートーヴェン: ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調「皇帝」*
ベートーヴェン: 交響曲 第6番 へ長調「田園」

第491回 2025 **3.8** (土) 14:00

OEK再発見・新発見、牛田智大のピアノと沖澤のどかの野心的プログラム



沖澤のどか / 指揮
牛田智大 / ピアノ*

プロコフィエフ:
交響曲 第1番 二長調
「古典交響曲」
モーツァルト:
ピアノ協奏曲 第24番 八短調*
オネゲル:
交響曲 第4番「パーゼルの喜び」

第2ヴァイオリン
坂本久仁雄のおすすめ!



ハイドンの技法に基づいて18世紀風に書かれたプロコフィエフ、古典派を代表する作曲家モーツァルト、そしてパーゼル室内管のために新古典様式で書いたオネゲル、「古典」というキーワードでまとめられた室内オーケストラの魅力が存分に発揮されるプログラムをOEKと共に人気沸騰中の2人がどのように仕上げてくれるか。さあ、古典のフルコースを召し上げ!!

第498回 2025 **10.24** (金) 19:00

《シーズン・フィナーレ》神を細部に宿すデュムソーの「火の鳥」



ピエール・デュムソー / 指揮 務川慧悟 / ピアノ*

プロコフィエフ: ピアノ協奏曲 第3番 八長調*
ストラヴィンスキー: バレエ組曲「火の鳥」(1919年版) ほか

ホルン アンジェラ・フィオーリーニ
のおすすめ!

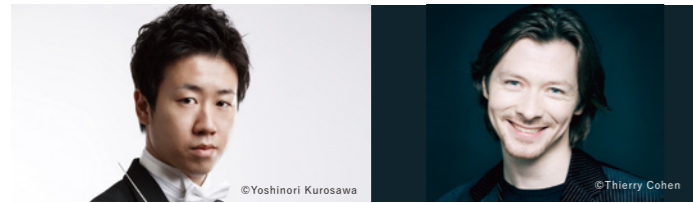


幼い頃、父は私に様々なジャンルの音楽を教えてくれました。彼のお気に入りの一つ「イエス」と呼ばれるロックバンドによるライブ録音は、優雅なホルンソロから始まり、「火の鳥」のテーマが輝かしいフルオーケストレーションへとクレッシェンドした後にパワフルで感動的なロックとなるもので、いつしか私の一番好きな曲になりました。父はクラシック音楽家ではなかったのですが、自分の好きな音楽を家族に聴かせてくれたおかげで、私はホルン奏者になったのだと思います。父は私が音楽堂のコンサートホールに壮大な「火の鳥」をもたらすことをとても喜んでいました。皆さんには是非この魔法の曲を聴きにきていただきたいです。

マイスター・シリーズ (6公演) 巨匠、偉才と出会う、週末午後の演奏会シリーズ

第485回 2024 **9.22** (日)祝 14:00

川瀬賢太郎、室内オケによるブラームス、
深化した天才ナカリャコフを聴く



川瀬賢太郎 / 指揮 (OEKパーマネント・コンダクター)

セルゲイ・ナカリャコフ / トランペット*

サン＝サーンス: 交響詩「死の舞踏」
アルチュニアン: トランペット協奏曲*
ブラームス: 交響曲 第2番 二長調

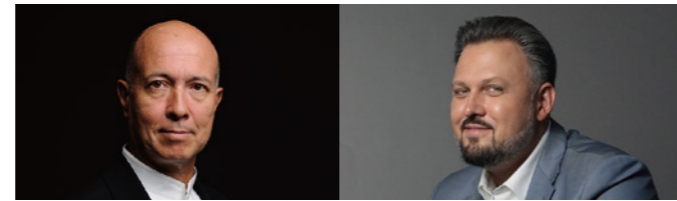
ヴィオラ
古宮山由里
のおすすめ!



ブラームスの田園交響曲とも例えられるブラームスの第2番は他の交響曲より明るく爽やかです。チェロの主旋律に寄り添うヴィオラの対旋律が何とも美しく、これぞヴィオラ冥利に尽きる! という至福の瞬間なのです。アルチュニアンそして死の舞踏はOEKのプログラムでは珍しく、円熟期を迎えたナカリャコフ氏との久々の共演も楽しみです。皆様、どうぞお聴き逃しなく!

第487回 2024 **11.9** (土) 14:00

終の境地、道義が極めたショスタコーヴィチ



井上道義 / 指揮 (OEK桂冠指揮者)

アレクセイ・ティホミーロフ / バス*

西村 朗: 鳥のヘテロフォニー (1993年OEK委嘱作品)

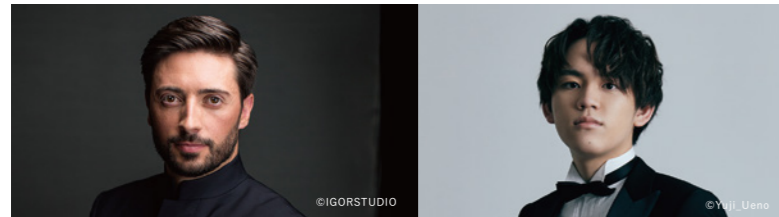
ショスタコーヴィチ:
交響曲 第14番
ト短調「死者の歌」*

第2ヴァイオリン
ヴォーン・ヒューズ
のおすすめ!



11月9日にはショスタコーヴィチの交響曲第14番をマエストロ井上さんと共演します。彼のお気に入りの作品で、2012年に東京で共演しました。テーマはややダークですが、マエストロの表現方法にとても合っている曲だと思います! この公演が井上マエストロとOEKの定期公演ラストとなります。OEKの歴史に残るであろうこの公演をどうぞお楽しみください。

第490回 2025 **1.26** (日) 14:00 ロン＝ティボー国際コンクール優勝を携え、亀井聖矢再登場



アントニオ・メンデス / 指揮

亀井聖矢 / ピアノ*

シューマン: 序曲、スケルツォとフィナーレ
サン＝サーンス: ピアノ協奏曲 第5番 へ長調「エジプト風」*
ブラームス: 交響曲 第3番 へ長調

チェロ首席奏者
植木昭雄のおすすめ!



第492回 2025 **3.20** (木)祝 14:00



スター揃いのOEK、
その一人一人を刮目して見よ!

広上淳一

／指揮 (OEKアーティストック・リーダー)

水谷 晃 / ヴァイオリン・OEK客員コンサートマスター*

植木昭雄 / チェロ OEK首席奏者*

橋爪恵梨香 / オーボエ OEK奏者*

金田直道 / ファゴット OEK奏者*

モーツァルト: 歌劇「劇場支配人」序曲

ハイデン: 協奏交響曲 変ロ長調*

ベートーヴェン: 交響曲 第7番 イ長調

名曲揃いのこのコンサートですが、一番の聞きどころはやはりハイデンの協奏交響曲。オーボエ、ファゴット、ヴァイオリン、チェロの4人のソリストが絶妙に絡み合いながら奏でる技巧的、かつ品格のあるメロディは、さすがのハイデン。そこに広上マエストロ率いるOEKのサウンドが重なり幸せなサウンドになること間違いありません! 僕も今からワクワクしています。OEKのヴィルトゥオーゾ達の活躍もご期待ください。

第494回 2025 **6.21** (土) 14:00 作曲家ヴィトマンの世界、声の本質に迫るマクファデン登場



イェルク・ヴィトマン / 指揮

クラロン・マクファデン / ソプラノ*

メンデルスゾーン: 弦楽のための交響曲 第13番 八短調「交響的断章」
ヴィトマン: フーガの試み (ソプラノ、オーボエと室内オーケストラ版)*
ヴィトマン: メンデルスゾーンの結婚行進曲によるパラフレーズ
メンデルスゾーン: 交響曲 第5番 二長調「宗教改革」

第497回 2025 **10.4** (土) 14:00 《シーズン・フィナーレ》OEKのマラー第4番交響曲 初披露



川瀬賢太郎

／指揮 (OEKパーマネント・コンダクター)

マトヴェイ・デミン / フルート*

高野麗音 / ハープ* 種谷典子 / ソプラノ**

モーツァルト: フルートとハープのための協奏曲 八長調*
マラー: 交響曲 第4番 ト長調**

ファンタスティック・オーケストラコンサート (4公演)

さまざまなジャンルの音楽でOEKを楽しんでいただくシリーズ

VOL.1 2024 **11.16** (土) 14:00

大人も子供も楽しめる!
天才、アキラさんのスペシャルコンサート!



宮川彬良 / 指揮、お話

クラシックから歌謡曲まで自由自在のOEKポップス

VOL.2 2025 **1.18** (土) 14:00

北陸初! 待望の姉妹ジョイントによる
オーケストラ・コンサート

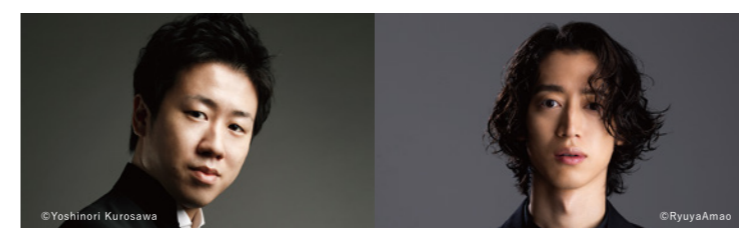


岩崎宏美、岩崎良美 / ヴォーカル 碓山隆一郎 / 指揮

聖母たちのララバイ、タッチ ほか

VOL.3 2025 **5.15** (木) 19:00

ボーダーレスな時代のトップランナー角野隼斗と開く、新しい音楽の扉



川瀬賢太郎 / 指揮 (OEKパーマネント・コンダクター)

角野隼斗 / ピアノ 石若 駿 / ドラム

グルダ: コンチェルト・フォー・マイセルフ ほか

トランペット
谷津謙一のおすすめ!



ヒノテルにみいだされた天才ドラマー石若駿

今では押しも押されぬ日本のトップドラマーとして活躍している石若駿君を僕が初めて知ったのは、彼が東京藝大附属高校に通っていた頃。日野皓正さんに、オーケストラの中で叩けるいいドラマーがいないかと伺ったところ、「いいヤツが居るよ!」と彼を紹介してくれた。駿君に電話し「今どんな曲を勉強してるんだ?」と聞くとチャイコフスキーの交響曲5番だと。「え? それはドラムセットはあるのか?」と...。日野さんと駿君の出会い、彼がまだ小学生の頃、北海道で行われたワークショップだったそうだ。「中学を卒業したら高校なんか行かず日野バンドに入れ!」と言われていたそうだが、彼は上京して音楽を専門的に学びたいという思いから、藝大附属高校に進学した。僕は彼と共演する機会はまだ無いが、ライブには何度か足を運んでいる。彼の卓越したフィーリングとテクニックは目を見張るものがある。アニメファンにはお馴染みの「坂道のアポロン」で吹き替えを担当したことをご存じの方も多いのでは?

VOL.4 2025 **7.19** (土) 14:00



《シーズン・フィナーレ》大河のドラマ大好き人間、
淳一のこだわり作品集!

広上淳一 / 指揮 (OEKアーティストック・リーダー)

大河のドラマ音楽 広上セレクション ほか

オーケストラアンサンブル金沢

OEK SUBSCRIPTION CONCERTS JUL — SEP 2024 定期公演 聞きどころ! 7月~9月の魅力的なオーケストラ公演をご紹介します!

text by 渡辺和(音楽ジャーナリスト) ※都合により内容に変更が生じる場合があります。

7.6 (土) 14:00開演 これもアメリカあれもアメリカ

第482回定期公演 フィルハーモニー・シリーズ

指揮:川瀬賢太郎(OEKパーマネント・コンダクター)

アイヴズ/ 答のない質問
 コーブランド/「アパラチアの春」組曲
 ドヴォルザーク/交響曲 第9番 ホ短調「新世界より」

世界中から移民が集まるアメリカ合衆国には、様々な音楽が流れている。パーマネント・コンダクター川瀬がズラリと並べたのは、そんなアメリカの多様性だ。

まずは、クラシック音楽作曲など商売にならぬと生涯アマチュアを貫いた異才中の異才アイヴズ。最弱音の弦楽合奏を背景に、トランペットの問いに4つの管楽器が勝手に応じ、議論にならずに終わってしまう。「コミュニケーションの不毛」の先取りは、1世紀以上昔とは思えぬ新鮮さだ。

古き良きアメリカを代表する作曲家コーブランドがバレエ曲として創作した「アパラチアの春」は、最もストレートにアメリカな音楽。題名からアメリカ東海岸に聳える山脈の

自然描写と思われそうだが、描かれるのは新大陸初期植民者の様子だ。管楽器がソロを吹き、ピアノが活躍する小規模管弦楽が奏でる賛美歌「シンプル・ギフト」に、過酷な自然の中で宗教や隣人愛に支えられつつ生きる素朴なアメリカを感じよう。

そして、誰もが知る「新世界から」。オーストリア帝国田舎で大真面目にクラシック音楽に向き合ったドヴォルザークのアメリカ感想文は、摩天楼を眺めるような壮大な響きの彼方に、アイヴズ同様に質問の答えを待つように終わる。

コンサートホール 14:00開演(13:00開場)

【全席指定】SS席 ¥7,000 / S席 ¥6,000
 A席 ¥5,000 / B席 ¥3,000
 スターライト席 ¥1,500

*25歳以下の方は当日券50%オフ(前日より予約可/要証明書類)



9.17 (火) 19:00開演 異才の王道直球勝負

第484回定期公演 フィルハーモニー・シリーズ

指揮:広上淳一(OEKアーティストティック・リーダー)
 ピアノ:ファジル・サイ

ベートーヴェン/「プロメテウスの創造物」序曲
 ベートーヴェン/ピアノ協奏曲 第3番 短調
 ベートーヴェン/交響曲 第4番 変ロ長調

若きベートーヴェンは、まずなによりも名ピアニストだった。学園都市ボンからウィーンに上京し、瞬間に帝都の音楽好き貴族らのアイドルとなった気難しい若者の得意技は、その場で音楽を創り出す即興演奏だったという。

天才ピアニストとして世に出たアンカラ生まれのサイだが、トルコ出身のクラシック系としては世界で最も人気の作家かも。今年の日本でもオーケストラが定期で交響曲や協奏曲を取り上げたり、人気ソリストがアンコールで難技巧小品を披露したり、ピアノの才とは無縁に作品が披露されているのである。

そんな鬼才が演奏家として最も得意とする協奏曲こそ、ベートーヴェンの第3協奏曲である。作曲者の独奏で初演されたときピアノパートはほぼ真っ白なままだった、と伝わるこの作品こそ、作曲家兼名人としてのサイを示す最良の楽譜かも。なにしろサイがこの曲の第1楽章のために作曲したカデンツァが、大手出版社から出版されている程なのだ。

異才との共演を前にマエストロ広上が披露するのは、ベートーヴェンが生涯唯一書いたバレエ音楽への序曲。そして異才のぶつかり合いは、楽聖が敢えて古典のフォーマットを踏襲せんとさっぱり正装した交響曲で括られる。

コンサートホール 19:00開演(18:00開場)

【全席指定】SS席 ¥7,000 / S席 ¥6,000
 A席 ¥5,000 / V席 ¥3,000 / スターライト席 ¥1,500

*25歳以下の方は当日券50%オフ(前日より予約可/要証明書類)

7/17(水)10:00~発売



7.13 (土) 14:00開演 バレンシアの室内管専門家は北国の夢を見る

第483回定期公演 マイスター・シリーズ

指揮:ロベルト・フォレス・ヴェセス
 ピアノ:小菅 優

ラフマニノフ/ピアノ協奏曲 第2番 短調
 シベリウス/交響曲 第2番 二長調

ラテンの血がたぎるヴァレンシア出身で、伝説の熱演型指揮者スヴェトラノフを顕彰するコンクールで世に出たと知れば、ロベルト・フォレス・ヴェセスと室内オーケストラの相性を心配する向きもあるやもが、ご安心を。このマエストロ、10年代にはかつてオーヴェルニュ室内管という名で知られたフランス屈指の室内アンサンブルを率い、来る秋からは名門イギリス室内管弦楽団の首席客演指揮者を任される室内オーケストラ指揮の専門家なのである。OEKの指揮台は、正に水を得た魚だ。

そんなスペイン人シェフが披露するのは、意外にもヨー

ロッパは北の国の音楽ばかり。だがロベルト・フォレスの師匠といえば、指揮から作曲まで何でもござれの北欧の鉄人、レイフ・ゼーゲルスタムなのである。コンクール優勝前にはヘルシンキのシベリウス・アカデミーで学び、北国の響きや透明なサウンドをしっかりと身に付けている。シベリウスの壮大なオーケストレーションを、大きくなり過ぎない規模の管弦楽編成を適切に鳴り響かせる技を心得た指揮者とオーケストラで堪能するなど、ありそうでないチャンスだ。記念年以来盛んに小菅が取り上げるラフマニノフにも、最適解が示されよう。

コンサートホール 14:00開演(13:00開場)

【全席指定】SS席 ¥7,000 / S席 ¥6,000
 A席 ¥5,000 / B席 ¥3,000
 スターライト席 ¥1,500

*25歳以下の方は当日券50%オフ(前日より予約可/要証明書類)



9.22 (日) 14:00開演 トランペットが輝かしく響く午後

第485回定期公演 マイスター・シリーズ

指揮:川瀬賢太郎(OEKパーマネント・コンダクター)
 トランペット:セルゲイ・ナカリヤコフ

サン＝サーンス/交響曲「死の舞踏」
 アルチュニアン/トランペット協奏曲
 ブラームス/交響曲 第2番 二長調

19世紀フランス最大の古典主義者とされるサン＝サーンスは、文学を音にするロマン派趣味の交響詩もいくつか手掛けている。墓場で死者の舞踏をホラー映画のように描くもの、音が外れた独奏ヴァイオリンの乱舞や骨がぶつかるシンフォニクの響きなど、深刻さよりも真顔でギャグを飛ばす皮肉屋の顔の方が顕わかも。

今や巨匠の風格も漂うナカリヤコフが吹き上げるアルメニア人アルチュニアンの協奏曲も、若くして第二次大戦で戦死した旧友のトランペット名手へのオマージュとされる。

だが、死や戦争の災禍への嘆きではなく、あくまでも楽器の可能性を教えてくれた友への讃歌。冒頭の勇壮な雄叫びから、騎馬民族天を翔るテーマ、そして中央アジアを連想させるエピソードでは昭和ムード歌謡風の泣き節も。底抜けの明るさとアンニュイな陰鬱、両極端を共存させるトランペットの多彩さをご堪能あれ。

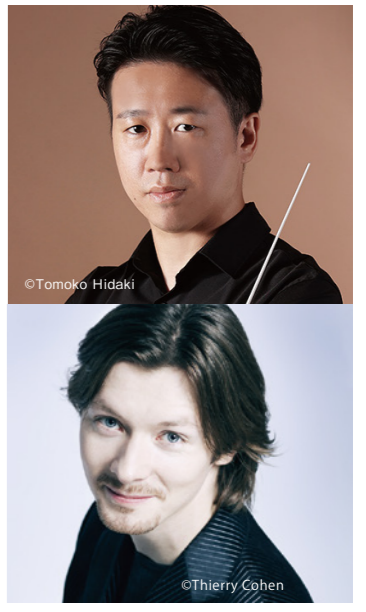
若きマエストロ川瀬が日曜の午後のメインに用意したのは、常に暗さへと傾斜しかねない後半生のブラームスが、美しい自然に触発され珍しくも明るく振る舞った二長調の響き。生真面目で孤独な魂が息の長い旋律美の先に到達する輝きは、秋の夕日のようにしっとりとした味わい深い。

コンサートホール 14:00開演(13:00開場)

【全席指定】SS席 ¥7,000 / S席 ¥6,000
 A席 ¥5,000 / V席 ¥3,000 / スターライト席 ¥1,500

*25歳以下の方は当日券50%オフ(前日より予約可/要証明書類)

7/17(水)10:00~発売



7.28 (日) 14:00開演 22世紀の定番名曲コンサートへようこそ

ファンタスティック・オーケストラコンサート Vol.3

指揮:広上淳一(OEKアーティストティック・リーダー)
 ナレーション:久間田琳加

久石譲/オーケストラ・ストーリーズ「となりのトトロ」
 グレイ/「サンダーバード」広上セレクション

モーツァルトやベートーヴェンの名演を職務とするOKEメンバーに「トトロ」や「サンダーバード」を弾かせるなんて些か失礼では、と思った貴方。ちょっと見方を変えてみませんか。例えばクラシック音楽の定番たる「カルメン」組曲にせよ「アイーダ」大行進曲にせよ、劇場のために書かれた音楽。要は、現代の映画音楽やテレビ、はたまたゲーム音楽である。余りにも音楽が素晴らしいので、現在でもクラシックのレパートリーとして万人に愛されているだけのことだ。

2024年の世界で最も著名な日本人作曲家が久石譲なこと、誰も異論はあるまい。まずは「さんぽ」で楽器を紹介、語り手のナレーションを挟みつつアニメ「となりのトトロ」

ワールドが展開する管弦楽組曲は、映画を知らずとも音楽好きなら大満足なはず。マエストロも大ファンだったという「サンダーバード」の音楽も、英国マーチングバンドと劇場音楽の伝統を継ぐ傑作だ。テレビSF人形劇収録用に作曲家バリー・グレイが綴った楽譜は、ヴァイオリンを三分割し多彩な管打楽器を活躍させる、モダンで洒落た総譜である。この2曲を並べたプログラミング、もしかしら100年後には定番名曲コンサートになっているかも。

コンサートホール 14:00開演(13:00開場)

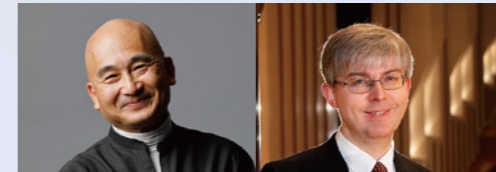
【全席指定】SS席 ¥8,500 / S席 ¥7,500
 A席 ¥6,500 / B席 ¥4,500



オーケストラ・アンサンブル金沢 ありがとうコンサート

指揮:広上淳一(OEKアーティストティック・リーダー)
 オルガン:ジャン＝フィリップ・メルカルト

OEKを応援くださる皆様に感謝を込めて、今年の「ありがとうコンサート」は、バリ五輪にちなんでフランスプログラムをお楽しみいただきます。「パリ」がタイトルに付くクラシックの名曲や、洒落た映画音楽に続き、後半は美しい世界観にどっぷり没れるミュージカル「オペラ座の怪人」をお届けします。オーケストラとパイプオルガンの重厚な響きが交じり合い、誰でも耳にしたことがある名曲の数々が迫力でもっとも心に響く響きと、想像しただけでもうっとり。一人で美しくも哀しい愛の物語に想いを馳せるのもいいし、お友達と一緒に楽しむのも◎。また18歳以下無料キャンペーンを利用して、ご家族で、またはお子様、お孫さんと一緒に、是非お楽しみください。



8.27(火) 19:00開演(18:15開場) コンサートホール

モーツァルト/交響曲 第31番 二長調「パリ」
 ガーシュウィン(山下康介編)/バリのアメリカ人
 ルグラン(渡辺俊幸編)/シェルブールの雨傘
 レイ(山下康介編)/男と女
 ロイド＝ウェバー(山下康介編)/
 「オペラ座の怪人」メドレー

【全席指定】S席 ¥4,000 / A席 ¥3,000
 *OEK定期会員 ¥2,000
 *賛助会員の皆様をご招待しています。

子ども劇場キャンペーン(18歳以下無料!)

申し込みはこちら ▶



あなたはリピーター? or 初めて?

毎月恒例! 広上マエストロ企画 キャンペーン・ミニコンサート

広上マエストロとOEK楽団員による30分間の楽しいコンサートです♪どうぞお楽しみに!

7.27(土) 17:00-17:30 | 8.26(月) 19:00-19:30 | 9.16(月祝) 17:00-17:30 (予定)

場所:金沢駅 南口 西側 西側
 イタリアンレストラン キャンペーン・ミニコンサートホール



岩城宏之メモリアル・コンサート特集

Hiroyuki Twaki Memorial Concert

2024年度 岩城宏之音楽賞受賞者
竹田理琴乃さん 特別インタビュー

岩城宏之



竹田理琴乃(たけだりこの)

金沢市出身。高校卒業後、ポーランド国立シヨパン音楽大学を首席で卒業、京都市立芸術大学大学院音楽研究科修士課程を首席で修了、大学院市長賞を受ける。第7回北陸新人登竜門コンサートで優秀者に選ばれ、井上道義氏指揮のOEKと共演。シヨパン国際ピアノコンクール本大会に、二度にわたって出場した。現在、地元金沢を拠点に、いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭、シヨパン・フェスティバルin表参道など幅広く活躍中。

一岩城宏之音楽賞受賞の知らせを聞いて

石川県で生まれ育った私にとって、岩城マエストロの名を冠した音楽賞は特別な存在です。思ってもみない素晴らしい賞を受けることができ、とびきりうれしく光栄に思います。家族や恩師、応援してくださっている周囲の皆さまに深く感謝しています。

一OEKとは共演を重ねています

幼いころからOEKのコンサートを聴いて育ちました。音楽にあふれる金沢で、素晴らしい演奏に触れてこられたのはとても幸運でした。OEKの皆さまとは7歳で初共演して以来、ご一緒させていただく機会に恵まれ、そのたびに気づきや学びがあり、刺激をいただいています。

一記念の演奏会ではリストのピアノ協奏曲第2番を演奏されます。

リストが長年にわたり手直しを重ねた第2番は「交響的協奏曲」と名付けられた時期もあり、ピアノとオーケストラが一体となった交響詩のような側面があります。私もオーケストラの一員となり、心一つにして奏することに憧れがあります。物語を読み

進めていくようなドラマチックな曲の展開も魅力的です。OEKの皆さまとご一緒できるのがうれしく、楽しみです。

一故郷に寄せる思いと、メッセージをお願いします。

石川の街や人が大好きで、金沢に戻ってきました。音楽は心の栄養になると信じ、聴かれた方が、また明日も頑張ろうと思っていただけのような、誰かの心に寄り添える演奏家でありたいと思っています。今回、石川の音楽の「聖地」である音楽堂で、岩城マエストロの魂が受け継がれたOEKと、沼尻竜典マエストロとご一緒できるコンサートは、ピアノを続けてきたことへの「ご褒美」のような時間です。思い切っ

て楽しんでみたいと思います。ぜひ、聴きに来てください。



沼尻竜典



荻田翔一

竹田理琴乃

9/7 [土] 14:00開演(13:00開場) コンサートホール

岩城宏之メモリアル・コンサート

- 指揮：沼尻竜典
- ピアノ：竹田理琴乃 (2024年度岩城宏之音楽賞受賞者)

荻田翔一 / Accumulate for Orchestra (2024オーケストラ・アンサンブル金沢委嘱作品・世界初演)
リスト / ピアノ協奏曲 第2番
メンデルスゾーン / 交響曲 第4番「イタリア」

【全席指定】S席 ¥5,000 / A席 ¥4,000
V席 ¥3,000 / スターライト席 ¥1,000 7/7(日) 10:00~発売
*OEK定期会員：S・A席 ¥1,500割引
*25歳以下の方50%割引(前日予約可/空席ある場合に限る/要証明書類)

寄稿

荻田翔一「線」の集積で生み出す音世界 —三木露風の詩に歌曲、オペラ《女王卑弥呼》…多彩な顔

藤盛一朗 (MOSTLY CLASSIC 編集長)

オーケストラ・アンサンブル金沢(OEK)のコンポーザー・オブ・ザ・イヤー、荻田翔一。OEKの委嘱新作がぎょう演奏される荻田には、「赤とんぼ」の詩人として知られる三木露風の歌曲を次々生み出し、オペラ《女王卑弥呼》の作曲にも取り組む多彩な顔がある。

2015年、ジュネーブ国際コンクールで優勝し、一躍その才能が目された。世界初演となる今回の《Accumulate for Orchestra》(アキュムレイト・フォー・オーケストラ)は「集積」を意味し、抽象音楽のど真ん中をいく作品。「書道で字をはらうと、線が生まれます。そうした『線』の(音の)集積がこの作品。コンクールの弦楽四重奏の受賞作《Billow》は、波のようでした。今回は大軍が押し寄せてくるようなイメージが生まれます」

曲は15分弱。2管編成のオーケストラ+

トロンボーン、チューバで、「OEKは組織力と一体感が素晴らしい」と言い、OEKに宛て書きた作品となっている。出身は、兵庫県たつの市。「コンクールの後、分かりやすい作品も書きたいと思いました」。同郷の露風に注目し、「一つ星」などその詩に曲をつけてきた。すでに50曲にもなる。

そしてオペラ好きで知られる漫画家、池田理代子に委嘱され、2025年6月の初演に向けて取り組んでいるのが《女王卑弥呼》。「メロディアスなオペラ作品です。抽象作品と(これらの創作は)対となっている」という。

新作の指揮は、沼尻竜典。オペラ《竹取物語》の作者としての顔も持ち、スコアの読みの深さには定評がある。そして、聴き手の私たちに、初演に立ち合う一回限りの幸福と名誉が与えられている。

PICK UP

ステージアートの世界～身体表現の可能性～

BALLET with 金子三勇士

ピアノとバレエ、そしてリート。芸術が拮抗する1日限りのステージ....



ステージアートの世界 Vol.1

ピアノ
金子三勇士
Miyuji Kaneko
©Seichi Saito

当音楽堂でおなじみのピアニスト・金子三勇士さんの魅力を伝える企画として、たいへん贅沢な催し《Ballet with 金子三勇士》が実現しました。クラシック・バレエ、および、声楽との競演です。

★多彩な共演者

今回は東京・新国立劇場バレエ団ゆかりの三方をお招きしました。

元プリンシパル(最高位ダンサー)・本島美和さんは、2022年に退団後は同劇場バレエ研修所の所長補佐・主任講師の重職にあつて、後進の指導に碎身しておられます。先ごろ大盛況のうちに演了した《アラジン》の2008年世界初演された時、女性主役・プリンセスを踊ったのは本島さんでした。繊細な中に強い芯の徹った、大輪の薔薇のような芸風は今もなお輝かしく健在です。

その《アラジン》で完璧な主役ぶりを見せ、プリンシパルとして活躍中の奥村康祐さんは、前作《ラ・バヤデル》「黄金の神像」役では驚異の身体技に基づく神力の威厳を示し、観客を圧倒しました。繊細かつ深々とした「心の表現」において、奥村さんは常に絶妙のものを見せてくれます。

ファースト・アーティストの中島瑞生さんはこの7月、同劇場初演作品《人魚姫》の初主役を射止

めました。長身を活かしたダンス・ノープル(主演女性ダンサーの相手を勤める王子役)として、正統派の揺るがぬ品位が今ますます期待されます。

二期会に所属する声楽家・城宏憲さんは、大作オペラの主役を次々に任される人気テノールです。近年、《メデア》ジャゾーネ、《ノルマ》ポッリオーネといった、イタリア・オペラ系列では最重量級の大役を美事に勤めました。精緻な表現に長けた個性を生かし、今回はドイツ歌曲の名作に挑みます。

★多彩な演目

1911年に伝説の名手・ニジンスキーが初演した《薔薇の精》は、ウェーバー《舞踏への勧誘》のバレエ版です。舞踏会の興奮さめやらぬ少女の夢に出現した、華麗な薔薇の精……今回は、中島瑞生さんの薔薇の精。本島美和さんの少女。原曲のピアノ独奏版で上演します。

サン＝サーンスの《白鳥》を舞踊化した《瀕死の白鳥》は1905年、これまた伝説の名手、アンナ・パブロワが初演した名作です。彼女は1922年に日本でもこれを踊り、当時の文化人たちに強烈な印象を残しました。最高格の品位と技術を持つ女性ダンサーでない作品の真味は示せません。本島美和さんは、まさに最適役です。

1840年に作曲されたシューマンの歌曲集《詩人の恋》は、男声用ドイツ歌曲として最高のレパートリーです。恋を失った若者の傷心を精緻に歌い上げる青春の音楽。歌のみならずピアノにも作曲の技法の粋が尽くされます。初の振付を担当する奥村康祐さん自身が踊ります。

★演者にとってすべてが初演

ここに触れた各曲みな、金子さんほか出演者全員にとって本日が初挑戦です。特に舞踊《詩人の恋》は、今回の制作版が世界初演となります。

現代日本で望み得る最高レベルのパフォーマンスが、交流ホールの極小空間で至近に味わえる稀有な機会。大いにご期待下さい。

8/14 [水] 交流ホール
15:00開演(14:15開場) / 17:00終演予定

ステージアートの世界 Vol.1 ～身体表現の可能性～ BALLET with 金子三勇士

- ピアノ：金子三勇士(全曲)
- 《薔薇の精》
(ウェーバー《舞踏への勧誘》)
- 薔薇の精：中島瑞生
- 少女：本島美和

- 《詩人の恋》
(作詞：ハイネ / 作曲：シューマン / 振付：奥村康祐)
- 詩人：奥村康祐
- テノール：城宏憲

《休憩》

- シューマン＝リスト：献呈
- シューマン(トロイメライ)
- ドビュッシー(月の光)
- シヨパン：ハラード第1番

- 《瀕死の白鳥》(サン＝サーンス(白鳥))
- 白鳥：本島美和
- チェロ：植木昭雄(OEK)

【全席自由】¥5,000
*OEK定期会員・邦友会会員10%割引



バレエ
本島美和
Miwa Motojima

バレエ
奥村康祐
Kosuke Okumura

バレエ
中島瑞生
Mizuki Nakajima

テノール
城 宏憲 Hironori Jo

チェロ
植木昭雄 Akio Ueki
(OEK首席チェロ奏者)

小曽根 真 インタビュー

演奏を共にする卓越した
"パートナー"壺阪健登と
紡ぐ至福の時間

Makoto Ozone



©Matsuki Kohei

One Man Orchestra と呼ばれるピアノ。他の楽器での「全編ソロ」というコンサートはとても稀だけれど、ピアノソロ・コンサートという文字を目にするには（特にクラシックの世界では）珍しい。それだけ一人で「完成」された音楽を奏でることができる楽器だけれど、これが二人同時に演奏するとすると他の楽器にはありえない課題が生まれる。クラシック音楽のように素晴らしいコンポーザー達が2台のピアノを使っているハーモニーや音量を考慮して書き上げた楽譜があっても2人同時に一つの音楽を演奏するのは苦勞するのに、ジャズはそのバランスのとれた響きを即興で創らなくてはならないわけだから、ここではピアニストとしての技術よりもむしろ作曲家としての実力を問われることになる。具体的に説明するならば、次々と目の前で生まれてくる音楽を瞬時に聞き取って二人で一つの響きを創り、更にその音から相方の気持ちや想いまで感じ

7/30 [火] 19:00開演 (18:火15開場) **コンサートホール**
石川県立音楽堂 リサイタル・シリーズ Vol.3
小曽根 真!!!
Towards a New Stage~新しいステージへ~
○ピアノ:小曽根 真、壺阪健登
G.ガーシュイン/ラブソング・イン・ブルー (2台ピアノ版) ほか

【全席指定】S席 ¥3,000 / A席 ¥2,000 / B席 ¥1,500 *OEK定期会員・邦友会会員 S席10%割引

じ取って次の音を想像しながら物語を紡いでいく。こんな風に書くとは相当大変なことをやっているように聞こえるが、実はこれが素晴らしいパートナーにささえ出れば最高に至福の時間となる。
僕にとって壺阪健登という音楽家はその一人。彼の持つ音楽を「聴く」力がずば抜けて素晴らしい事は当然ながら、彼の指先から次から次へと即興で紡ぎ出される物語の深さとその美しさに、もっと色々な事を表現したいとこちらが触発される。この会話を生でご覧になったら、きっと会場の皆さんも僕らと同じ「至福」を感じて頂けるだろう。この二つの魂が音楽を通して一つになって皆さんと生きていく喜びを分かち合う時間が待ち遠しい。



壺阪健登

おすすめ公演

✓ 音楽堂フェスタ2024

さあ夏休み! 宝物を探しに音楽堂へ集まれ!!

8月3日(土)、4日(日)の2日間、気軽に参加できる楽しい「音楽堂フェスタ」を開催します! 普段あまり目にする事のない和楽器や洋楽器、インド楽器などたくさんの楽器と、日本舞踊、茶道、香道などの日本の習い事、そして落語や朗読など他にはない珍しい芸能など色とりどりのワークショップをご用意しました。
4日(日)の午後からは、講師の先生による「音楽堂スペシャルLIVE」を開催します! 落語、太神楽、日本舞踊、インド音楽、テルミン、クラシック音楽と、多ジャンルにわたるスペシャルな熱狂LIVEです。ぜひご家族でお越しください!



8/3 [土] **4** [日] 10:00~ **交流ホール ほか**

スペシャル・ワークショップ

定番 箏、三味線、小鼓、日本舞踊、落語、太神楽、ヴァイオリン、チェロ、サクソフォン茶道、香道

超レア ハイブオルガン、タブラ、シタレレ(エレキ・シタール)、テルミン、邦楽ホール舞台裏、朗読、殺陣

障がい者向けワークショップ
ドラムサークル、だれでもピアノ、粘土アート

入場無料(事前申込制) ※対象:小学生以上
ワークショップに参加される方は、事前にお申込みのうえ当日お越しください



8/4 [日] 13:30開演 (13:00開場) **交流ホール ほか**

音楽堂スペシャルLIVE

【全席自由】¥500 ※小学生より入場可

寄席LIVE	クラシックLIVE
<ul style="list-style-type: none"> ○落語:三遊亭歌奴 ○太神楽:翁家和助 	<ul style="list-style-type: none"> ○テルミン:前田悠希 ○ヴァイオリン:竹田樹莉果 ○ピアノ:山田ゆかり

日本舞LIVE
<ul style="list-style-type: none"> ○立方:藤間寿 ○長唄:松永忠一郎 ○鳴り物:藤舎呂英

インド音楽LIVE
<ul style="list-style-type: none"> ○シタール:ヨシダダイキチ ○タブラ:林 怜王



FEATURE Recommended Events

卓越したオルガンの名手と音楽堂が誇るパイプオルガンが出会う フランソワ・エスピナス オルガン・リサイタル

この夏、フランスで活躍するオルガンの名手が音楽堂にやってくる。フランソワ・エスピナスは、パリの中心、ノートルダム大聖堂近くのサン・セヴラン教会やヴェルサイユ宮殿王室礼拝堂でオルガニストを務める一人。前半はバッハに影響を与え、またバッハが影響を与えた作曲家の作品を、そして後半は20世紀以降のフランス作品を披露する。聴きごたえのあるプログラムだ。
プログラムをみてピンと来ない人も、心を開いてご来場いただいたなら、きっとオルガンのとりこになるだろう。石川県立音楽堂が誇る大オルガンは70に近い音色、5,000本以上のパイプを持つ日本有数の楽器。誤解を恐れずにいえば、めくるめく色彩感と押し寄せる響きを体験するだけでも価値がある。もちろん作品の魅力とエスピナスの技巧が、その価値を高めてくれることは請け合いだ。
またエスピナスからは石川への心を寄せたメッセージをもらった。
「この度、石川の皆様、地震で被災された地域の皆様のために演奏できることを、とても光栄に感じています。音楽は悲しみや苦難を乗り越え

る力を私たちに与えてくれます。そして私のコンサートが皆様の希望の光となれば幸いです。私の心は皆様と共にあります。この夏、ぜひ会場でお会いしましょう!
彼の言葉の通り、おりしも世の中は夏休み。ぜひ小学生から大人まで、オルガンの奏でる音楽のシャワーを身体全体に浴びてほしい。そしてオリンピック開催中であるフランス・パリの空気を、家のモニターではなく音楽堂で感じてみよう!



©Louis Nespoulous

フランソワ・エスピナス

8/4 [日] 15:00開演 (14:15開場) **コンサートホール**

○オルガン:フランソワ・エスピナス
グリニー/讃歌「来たれ、創造主」
J.S. バッハ/前奏曲とフーガ
メンデルスゾーン/オルガン・ソナタ 第2番
フランク/コラール 第3番
メリアン/前奏曲
V. オーベルタン/ソナタ 第6番
J.アラン/幻想曲 第2番
トルヌミール/パラフレーズ=カリヨン

【全席指定】
一般 ¥3,000
高校生以下 ¥1,500
*OEK定期会員・邦友会会員
10%割引(一般のみ)



✓ 7月のランチタイムコンサート

フルートとハーブのアンサンブルの
魅力を余すことなく

材質や大きさは違えど、共に柔らかさと煌びやかさを兼ね備えた音色を持つフルートとハーブ。
7月のランチタイムコンサートでは、太陽が眩しい夏空にぴったりな、透明感あふれる二つの楽器のアンサンブルを。フルートとハーブの思わずうっとりしてしまうような澄み切った音色を堪能していただくべく、世にも美しい旋律を持つ名曲をご用意しております!
メンデルスゾーンの『歌の翼』の主題による幻想曲』、ドビュッシーの『小舟にて』など、聴いていると思わず夢見心地になってしまうような癒しの音楽や、夏を盛り上げるかのような華麗で情熱的な『カルメン・ファンタジー』、そしてフルートとハーブのたおやかな音色にぴったりな日本の民謡まで!表情豊かな音楽を取り上げ、フルートとハーブのアンサンブルの魅力をお伝えいたします。出演者の二人は共に金沢市出身、真夏に相応しいアツいプログラムと、地元・石川県への愛を準備して、お待ちしております!どうぞご期待ください!



安嶋美裕



平尾祐紀子

7/9 [火] 12:15開演 (11:30開場) 10:45~ミニ朗読劇 (カフェ・コンツェルト) **コンサートホール**

音楽堂ランチタイムコンサート フルートとハーブが織りなす世界

○フルート:安嶋美裕 ○ハーブ:平尾祐紀子
メンデルスゾーン/歌の翼による幻想曲
モルナール/日本民謡の主題によるファンタジー
ドビュッシー/小舟にて ボルヌ/カルメンファンタジー ほか
【全席自由】¥500

✓ 9月のランチタイムコンサート

北陸の地が育んだ、希少な
歌声が紡ぎ出す豊かな歌の世界

声楽作品をお届けする本ランチタイムコンサートは、第21回北陸新人登竜門コンサートにも選出され、サンリホールオペラ・アカデミーでも活躍する新進気鋭の富山県出身のメゾ・ソプラノ歌手、伴野久三子さんの歌声をぜひお楽しみください。
彼女の得意とするオペラ「カルメン」やミュージカル、歌曲の他、2重唱も含めた、とても魅力的なプログラムをご用意して皆様をお待ちしております。また共演者に、ガルガンチュア音楽祭でもお馴染みのバス歌手、森雅史さんが出演いたします。伴奏は、新国立劇場オペラ研修所や静岡国際オペラコンクールで活躍する岩淵慶子さんが担当します。歌手の長所を活かす彼女のピアノもご注目ください。
メゾ・ソプラノ歌手とバス歌手による、とっても珍しい組み合わせのコンサート。シリアスからコケティッシュまで…北陸の地が育んだ、希少な歌声が紡ぎ出す豊かな歌の世界を是非ともご堪能下さい。



伴野公三子



森雅史
岩淵慶子
©Seiji Moriyama

9/11 [水] 12:15開演 (11:30開場) **コンサートホール**

音楽堂ランチタイムコンサート 心に響く歌声 デュオコンサート

○メゾ・ソプラノ:伴野公三子
○バス:森雅史 ○ピアノ:岩淵慶子
ビゼー作曲 オペラ「カルメン」より「ハバネラ」、山田耕祐作曲「曼珠沙華」、ほか
【全席自由】¥500 7/9(火)10:00~発売

CLOSE-UP PEOPLE

ジングシュピール「少年オルフェ」の 金沢初演に寄せて 天沼裕子インタビュー

～私を元気にしてくれた薬は一冊の本だった～

虚弱体質の幼な子は、臆病で無口な性格に育ちました。無事小学校に入学したものの、イジメに遭いました。臆病で跳ね返す勇気もないので、学校が辛く、その頃に死んだら楽になるかなと思いはじめました。現実逃避のため、放課後は友達と遊ばず、もっぱらピアノが友達。それが私です。米沢幸男著『少年オルフェ』を手にしたのは10歳の時。この私の“救い”となりました。この一冊がなかったら、自分はどんな人生を歩んでいたのか。それからの私は明るくなり、ソフトボールができるまで元気になりました。この大切な一冊を、今の子どもたちに歌芝居(ジングシュピール)として提供したい。果敢な主人公の存在を知ってほしいという気持ちで書きました。

地球のあちらこちらで起こる大人げない衝突。天災にあえく地球人。こんなひどい世の中だからこそ、心の純粋な子どもたちには純粋なものを観てほしい。「大丈夫、なんとかなる。地球でたくさん善行を積んで、忘却の星へ行こう!」そう思えるような、子ども劇場としての工夫や楽しさがたくさん詰まった舞台にしました。

音楽のコンセプトは、必ずしも子供向きでないかもしれませんが。調性は、18世紀後半から19世紀前半の旧ウィーン楽派を基盤に設定しました。しかし、子どもたちは特別なアンテナを持っているので、すべて理解してしまうことでしょう。音楽通の大人はきっと「あー、これはバッハからの引用に違いない、パッサカリアだ、グレゴリオ聖歌、ハバネラ、そしてレクイエム!」と分類できることでしょう。音楽をクイズのようにお聴きになるもよし、反対にそういった先入観なしに自由な発想で楽しむのもOKです。

キャストは、私の弟子たちを中心にオーディションで合格した方々です。オペラ歌手というものは、声や歌唱力は素晴らしい。しかしそれだけでは舞台は成り立たないのです。互いの音楽的・芝居的キャッチボール(アンサンブル)、これら二つの要素は舞台には不可欠。その上『少年オルフェ』では一人三役もあり、異なる役柄を演じる歌手たちの工夫や、さっさと死んだと思ったら生き返って、がらっと別の役を演じたりする、それらを観ることは、子どもにとって愉快なことに違いありません。

舞台とは、真摯で凝縮されたエネルギーを要求されるものです。そういう波動の高い、ビリビリとした「生」の舞台に触れて感動する子らは多いでしょう。感動する子らを見ながら、それくらい舞台芸術とは尊いものだと思える大人はもっと多いでしょう。



天沼裕子 Yuko Amanuma
指揮者・作曲家

埼玉県出身。東京藝術大学作曲科卒。ドイツ・ハノーファー音楽演劇大学大学院指揮科修了。1988年、オランダ・ヒルヴェルスムで開かれた、岩城宏之氏講師による国際指揮者講習会にて、最優秀賞のエドワルド・ファン・ベイヌム賞受賞。オランダ放送響を振ってアムステルダム・コンツェルトヘボウデビュー。同年、オーケストラ・アンサンブル・金沢の初代常任指揮者に就任。89年、同OEKの第一回定期公演を振って、日本デビュー。90、91年武満徹氏の「ミュージック・トゥデイ」に登場。99年、ドイツ・ザクセンアンハルト州都のマグデブルク歌劇場に、シュトゥディエンライター兼指揮者として就任。翌年、カベルマイスターに就任。2000年、同劇場にて、オペラ「裏切者の心臓」を作曲し、オペラ作曲家デビュー。と同時に、若きR.ヴァーグナーと同じポジションである、同劇場座付き作曲家の栄誉を授かる。05年、ドイツ・バイエルン州、ヴュルツブルク音楽大学オペラ科主任教授に就任。12年、大学院コレパティート学科が新設され教授に就任。後年、指揮科を兼任。09年「裏切者の心臓」のオーケストラ版が、OEKの委嘱により、コンサート会形式にて金沢で世界初演。11年～19年、新国立劇場オペラ研修所所長木村俊光氏の招聘により、研修生の指導に当たる。21年～22年、オペラ研修所音楽主任講師。21年、ドイツ・ヴュルツブルク音楽大学定年退官。指導した学生総数は声楽科270名余。指揮科、コレパティート科40名余。日本に戻り、後進の指導に当たる。



8/18 [日] 邦楽ホール

午前の部 11:00開演 (10:30開場) 午後の部 14:30開演 (14:00開場)

天沼裕子プロデュース 小中学生のためのコンサート
子どもと一緒に楽しめるオペラ「少年オルフェ」
～克服不可能な試練はない～

- 原作：米沢幸男 (講談社出版)
- 脚本・作曲：天沼裕子 ○演出：マルクス・コプフ
- 出演：(すすむ)鳥尾匠海、(ロケットガールA)斉藤真歩、(ロケットガールB)丹呉由利子、(ふう子/女官)泉関洋子、(大統領)武井雷俊、(裁判長/ボタニクス博士)高橋洋介、(プラチナ女王)山崎陶子、(おじいさん)寺尾貴裕、(医師)目黒和史

【全席自由】各公演 一般 ¥1,000 中学生以下 ¥500 *未就学児入場不可



Artist meets Kanazawa craft



金沢百番街



石川県立音楽堂

地域の
人々に寄り添う
OEKの新しい
チャレンジを
いつか一緒に

ピアニスト 金子三勇士 (群馬県出身)

ヨーロッパではバニラアイスと言えば、カスタードクリームのような濃い黄色にバニラビーンズの黒い粒々があるものが主流で、僕がハンガリーに住んでいた頃はまだソフトクリームは手に入りませんでした。そのため今でも日本の白いソフトクリームを見ると嬉しくなります。そのソフトクリームが主体となっているこのパフェは、イチジクのロールケーキなど美味しいようなものがたくさん乗っていて、どこから食べようか迷います(笑)。ボリュームたっぷりでもとても美味しいです! このパフェだけでなく、百番街さんに来るといつも美味しいものを見つけているので、公演の準備でどんなに忙しくても、必ず時間を見つけて来てしまいます。

石川県にはクラシック音楽やピアノを愛する方がとても多いと日頃から感じています。僕は、公演でハンガリーの作品を取り上げることが多いのですが、「本格的な作品をやっと生で聴けて嬉しかった」とSNSへ書いてくださる方もいらっしゃいます。そして皆様あたたかい! 僕が客席に向かって話しかけると、笑顔でうなずいてくださいます。一方、サイン会でお名前を尋ねると遠慮されるような、控えめな方が多い印象があります。次にお目にかかった時はどうぞ気軽に話しかけてくだ

さいね!(笑)また、これまでマスタークラスでお会いした子どもたちは皆さん本当に楽しそうに演奏されており、少しアドバイスをするとすぐに自分たちなりに考え、新しい事を演奏に取り入れるチャレンジをしてくれます。

私たちは常に自然災害や戦争といった厳しく辛い現実の中で生きていますが、そういう難しい局面に際し、私はいつも「尊敬する偉大な作曲家達ならどう考え、どう生きてだろう」と思いを馳せます。人々が音楽を聴きたい、生の演奏に触れたいと思う時、近くに音楽家がいること、今の時代それが求められていると強く感じます。ですから地元に着きつたオーケストラであるOEKさんが今後新しい企画を発信されるとき、私も是非一緒にチャレンジさせていただきたいです。

8/14の「ステージアートの世界」では、それぞれのジャンルで素晴らしい活躍をなさっているアーティストの方々が集まり、ステージで一期一会の芸術的瞬間を創り上げていきます。観て、聴いて楽しむ、そんな公演になる予感がします。客席でもジャンルを超えたお客様同士の出会いも生まれそうですね。皆様是非お越し下さい! 会場でお待ちしています。



撮影協力:ツナグカフェ MAPLE HOUSE

▶ Profile

金子三勇士 (かねこみゆし)

1989年、日本人の父とハンガリー人の母のもとに生まれる。6歳で単身ハンガリーに渡り11歳から飛び級で国立リスト音楽院大学に学ぶ。16歳で日本に帰国。東京音楽大学卒業、同大学院修了。バルトーク国際ピアノコンクール優勝。出光音楽賞の他、数々の賞を受賞。国内外の指揮者や主要オーケストラと多数共演。NHK-FM「リサイタル・パッシオ」にレギュラー出演。2021年に日本デビュー10周年を迎え、2022年3月にサントリーホールでソロ・リサイタルを開催。同年、ドイツ・グラモフォンより新譜CD「フロイデ」をリリース。キシマロシュ名誉市民。スタインウェイ・アーティスト。



— SHOP INFO —

ツナグカフェ MAPLE HOUSE

石川県金沢市木ノ新保町1-1
(金沢百番街Rinto内)

TEL 076-260-3848

〈営業時間〉7:00~21:00 (L.O.20:00)
(定休日)施設に準ずる

石川県立音楽堂主催 & OEK公演スケジュール 7月～9月

25 25歳以下の当方日券半額(前日予約可) 託 託児サービスあり(有料:要事前申込み) 安 1,000円以下で入場できる公演 0歳から入場できる公演 ※都合により内容に変更が生じる場合があります。

7.6 [土] 14:00開演 (13:00開場) コンサートホール

オケストアンサンブル金沢 第482回定期公演 フィルハーモニー・シリーズ 川瀬賢太郎のアメリカ・プログラム



指揮:川瀬賢太郎 (OEKパーマネント・コンダクター) アイヴズ/答えのない質問 コーブランド/「アパラチアの春」組曲 ドヴォルザーク/交響曲 第9番「新世界より」

7.9 [火] 12:15開演 (11:30開場) コンサートホール 10:45～ミニ朗読劇(カフェ・コンツェルト)

音楽堂ランチタイムコンサート フルートとハーブが織りなす世界



フルート:安嶋美裕 ハーブ:平尾祐紀子 メンデルスゾーン/歌の翼による幻想曲 モルナール/日本民謡の主題によるファンタジー

7.13 [土] 14:00開演 (13:00開場) コンサートホール

オケストアンサンブル金沢 第483回定期公演 マイスター・シリーズ 不滅の叙情とロマンティズム



指揮:ロベルト・フォレス・ペセス ピアノ:小菅 優 ラフマニノフ/ピアノ協奏曲 第2番 シベリウス/交響曲 第2番

指揮:川瀬賢太郎 (OEKパーマネント・コンダクター) アイヴズ/答えのない質問 コーブランド/「アパラチアの春」組曲

7.28 [日] 14:00開演 (13:00開場) コンサートホール

オケストアンサンブル金沢 ファンタスティック・オーケストラコンサート Vol.3 トロトとサンダーバード 時代を超える名作



指揮:広上淳一 (OEKアーティストティック・リーダー) ナレーション:久間田琳加 久石譲/オーケストラ・ストーリー

7.30 [火] 19:00開演 (18:15開場) コンサートホール

石川県立音楽堂リサイタル・シリーズ Vol.3 小曾根 真!!! Towards a New Stage ~新しいステージへ~



ピアノ:小曾根 真、壺阪健登 G.ガーシェン/ラプソディー・イン・ブルー

8.3 [土] / 4 [日] 交流ホール ほか 音楽堂フェスタ 2024



8.3 [土]、8.4 [日] (4日は午前中のみ) スペシャル・ワークショップ ※対象:小学生以上 箏、三味線、小鼓、ヴァイオリン、チェロ、サクソフォン、香道、太神楽、茶道、落語、日本舞踊、演劇、殺陣、タブラ、シタレ(エレキギター)、テルミン、パイプオルガン、邦楽ホール舞台裏ツアー、だれでもピアノ、ドラムサークル、粘土アート

8.4 [日] 13:30開演 (13:00開場) 音楽堂スペシャルLIVE! 落語:三遊亭歌奴 太神楽:翁家和助 シタール:ヨシダダイキチ タブラ:林 怜王 日本舞踊:藤間寿、松永忠一郎(長唄)、藤倉呂英(小鼓) テルミン:前田悠希 チェロ:富田祥 ヴァイオリン:竹田樹莉果 ピアノ:山田ゆかり

8.4 [日] 15:00開演 (14:15開場) コンサートホール

フランソワ・エスピナス オルガン・リサイタル



オルガン:フランソワ・エスピナス グリニー/讃歌「来たれ、創造主」 J.S. バッハ/前奏曲とフーガ

8.14 [水] 15:00開演 (14:15開場) 交流ホール

ステージアートの世界 Vol.1 ~身体表現の可能性~ BALLET with 金子三勇士



ピアノ:金子三勇士 テノール:城 宏憲 バレエ:本島美和、奥村康祐、中島瑞生 チェロ:植木昭雄(OEK) 薔薇の精 ウェーバー/舞踏への勧誘 華麗なるロンド

8.18 [日] 午前の部 10:30開演 (10:30開場) 午後の部 14:30開演 (14:00開場) 邦楽ホール

小中学生のためのコンサート 子どもと一緒に楽しむオペラ 「少年オルフェ」~大人も楽しめる!!~



原作:米沢幸男(講談社出版) 脚本・作曲:天沼裕子 演出:マルクス・コプフ 出演:鳥尾匠海、斎藤真歩、丹良由利子、泉関洋子、武井雷俊、高橋洋介、山崎陶子、寺尾貴裕、目黒知史

8.27 [火] 19:00開演 (18:15開場) コンサートホール

オケストアンサンブル金沢 ありがとうコンサート



指揮:広上淳一 (OEKアーティストティック・リーダー) オルガン:ジャン＝フィリップ・メルカールト ガーシェウィン/パリのアメリカ人

*子ども劇場キャンペーン(18歳以下無料) はこちらより申込み▶

9.7 [土] 14:00開演 (13:00開場) コンサートホール

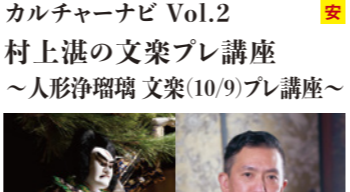
オケストアンサンブル金沢 岩城宏之のメモリアル・コンサート



指揮:広上淳一(OEKアーティストティック・リーダー) ピアノ:ファジル・サイ ベートーヴェン/「プロメテウスの創造物」序曲

9.10 [火] 19:00開演 (18:30開場) 交流ホール

カルチャーナビ Vol.2 村上湛の文楽プレ講座 ~人形浄瑠璃 文楽(10/9)プレ講座~



村上湛(石川県立音楽堂邦楽主宰) 【全席自由】¥1,000 *10/9 文楽公演のチケットをお持ちの方は¥500

9.11 [水] 12:15開演 (11:30開場) コンサートホール

音楽堂ランチタイムコンサート 心に響く歌声 デュオコンサート



メゾ・ソプラノ:伴野公三子 バス:森雅史 ピアノ:岩淵慶子

9.17 [火] 19:00開演 (18:00開場) コンサートホール

オケストアンサンブル金沢 第484回定期公演 フィルハーモニー・シリーズ 初登場、異能の表現者 ファジル・サイのベートーヴェン



指揮:広上淳一(OEKアーティストティック・リーダー) ピアノ:ファジル・サイ ベートーヴェン/「プロメテウスの創造物」序曲

9.22 [日] 14:00開演 (13:00開場) コンサートホール

オケストアンサンブル金沢 第485回定期公演 マイスター・シリーズ 川瀬のブラームス2番 深化した天才ナカリヤコフを聴く



指揮:川瀬賢太郎(OEKパーマネント・コンダクター) トランペット:セルゲイ・ナカリヤコフ サン＝サーンス/交響詩「死の舞踏」

9.29 [日] 午前の部 10:30開演 (10:00開場) 午後の部 13:30開演 (13:00開場) 交流ホール

クラシック for キッズ 君もかがやけ! キラキラキッズコンサート★



出演:金管アンサンブル アイユ・サクソフォンカルテット サン＝サーンス/動物の謝肉祭より

オケストアンサンブル金沢 石川県立音楽堂以外の公演

8.4 [日] 14:00開演 (13:15開場) TAIRIK×

ヴァイオリン&ヴィオラ:TAIRIK(TSUKEMEN リーダー) 指揮:海老原光 コンサートマスター ヴァイオリン・ソロ:水谷晃

9.1 [日] 15:00開演 (14:15開場) 加賀公演2024

指揮:鈴木織術 吹奏楽:加賀市中学校 選抜吹奏楽団(ケスト) ベートーヴェン/交響曲 第7番 ほか

9.23 [月休] 14:00開演 (13:00開場) 大阪定期公演

指揮:川瀬賢太郎(OEKパーマネント・コンダクター) ピアノ:三浦謙司 サン＝サーンス/交響詩「死の舞踏」

8.25 [日] 15:00開演 (14:15開場) 富山特別公演

指揮:山下一史 ソプラノ:光岡暁恵、今野沙知恵 テノール:渡辺康

9.8 [日] 13:00開演 (12:15開場) 福井公演

指揮:沼尻竜典 ヴァイオリン:篠原悠那(2023年度岩城宏之音楽賞受賞者)

9.24 [火] 19:00開演 (18:15開場) 第48回名古屋定期公演

指揮:川瀬賢太郎(OEKパーマネント・コンダクター) トランペット:セルゲイ・ナカリヤコフ

9.27 [金] ~能登半島地震 復興応援コンサート~

指揮:沼尻竜典 ヴァイオリン:篠原悠那(2023年度岩城宏之音楽賞受賞者)

9.8 [日] 13:00開演 (12:15開場) 福井公演

指揮:沼尻竜典 ヴァイオリン:篠原悠那(2023年度岩城宏之音楽賞受賞者)

9.27 [金] ~能登半島地震 復興応援コンサート~

指揮:広上淳一(OEKアーティストティック・リーダー) 14:00開演 (会場)石川県立図書館

オケストアンサンブル金沢 ~和洋の響~ 「能舞とオーケストラ」 作品(新曲)募集

第23回北陸新人登竜門コンサート オーディション実施 弦管打楽器部門 ソリスト・オーディション 北陸三県の新人演奏家を発掘・支援する北陸新人登竜門コンサート。23回目となる今回は「弦管打楽器」部門を開催し、オーディションを下記の要領で実施します。

オーケストラアンサンブル金沢 2024-2025 定期公演

フィルハーモニー・シリーズ(9公演) マイスター・シリーズ(6公演) ファンタスティック・オーケストラ・コンサート(4公演)



第484回 2024 **9.17** (火) 19:00
広上淳一(指揮/OEKアーティストティック・リーダー)
ファジル・サイ(ピアノ)
ベートーヴェン:「プロメテウスの創造物」序曲 op.43
ベートーヴェン:ピアノ協奏曲 第3番 八短調 op.37
ベートーヴェン:交響曲 第4番 変ロ長調 op.60

第486回 2024 **10.17** (木) 19:00
佐藤俊介(指揮・ヴァイオリン)
ヴァンハル:交響曲 二短調 Bryan d1
ミスリヴィアチェク:ヴァイオリン協奏曲 ホル長調
モーツァルト:交響曲 第38番 二長調 K.504「ブラハ」

第488回 2024 **12.5** (木) 19:00
エリアス・グランディ(指揮)
金川真弓(ヴァイオリン)
ウェーバー:歌劇「魔弾の射手」序曲
シューマン:ヴァイオリン協奏曲 二短調
ブラームス:交響曲 第4番 小短調 op.98

第489回 2025 **1.11** (土) 14:00
松井慶太(指揮/OEKコンダクター)
鈴木玲奈(ソプラノ)
ショスタコーヴィチ[没後50年]:タヒチ・トロット op.16
サティ[没後100年]:ジムノペディ(ドビュッシー編)
ビゼー[没後150年]:歌劇「カルメン」より
J.シュトラウスII[生誕200年]:喜歌劇「こうもり」より ほか

第491回 2025 **3.8** (土) 14:00
沖澤のどか(指揮)
牛田智大(ピアノ)
プロコフィエフ:交響曲 第1番 二長調 op.25「古典交響曲」
モーツァルト:ピアノ協奏曲 第24番 八短調 K.491
オネゲル:交響曲 第4番 H.191「パーゼルの喜び」

第493回 2025 **5.24** (土) 14:00
指揮:鈴木秀実
独唱:中江早希(ソプラノ)
谷口洋介(テノール) 水見健一郎(バス)
合唱:コール・リベロ・クラシコ
ハイドン:オラトリオ「天地創造」

第495回 2025 **7.5** (土) 14:00
ニル・ヴェンディッティ(指揮)
クセーニャ・シドロワ(アコーディオン)
レスピーギ:ポッティチェリの3枚の絵
ピアソラ:バンドネオン協奏曲「アコンカグア」(アコーディオン版)
サイ:3つのバラード
イベル:室内管弦楽のためのディヴェルティスマン

第496回 2025 **9.20** (土) 14:00
広上淳一(指揮/OEKアーティストティック・リーダー)
トム・ボロー(ピアノ)
ベートーヴェン:ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 op.73「皇帝」
ベートーヴェン:交響曲 第6番 へ長調 op.68「田園」

第498回 2025 **10.24** (金) 19:00
ピエール・デュムソー(指揮)
務川慧悟(ピアノ)
プロコフィエフ:ピアノ協奏曲 第3番 八長調 op.26
ストラヴィンスキー:バレエ組曲「火の鳥」(1919年版) ほか

第485回 2024 **9.22** (日祝) 14:00
川瀬賢太郎(指揮/OEKパーマネント・コンダクター)
セルゲイ・ナカリヤコフ(トランペット)
サン＝サーンス:交響詩「死の舞踏」 op.40
アルチュアン:トランペット協奏曲
ブラームス:交響曲 第2番 二長調 op.73

第487回 2024 **11.9** (土) 14:00
井上道義(指揮/OEK桂冠指揮者)
アレクセイ・ティホミーロフ(バス)
西村 朗:鳥のヘテロフォニー(1993年OEK委嘱作品)
ショスタコーヴィチ:交響曲 第14番 短調 op.135「死者の歌」

第490回 2025 **1.26** (日) 14:00
アントニオ・メンデス(指揮) 亀井聖矢(ピアノ)
シューマン:序曲、スケルツォとフィナーレ op.52
サン＝サーンス:ピアノ協奏曲 第5番 へ長調 op.103「エジプト風」
ブラームス:交響曲 第3番 へ長調 op.90

第492回 2025 **3.20** (木祝) 14:00
広上淳一(指揮/OEKアーティストティック・リーダー)
水谷 晃(ヴァイオリン/OEK客員コンサートマスター)
植木昭雄(チェロ/OEK首席奏者)
橋爪恵梨香(オーボエ/OEK奏者)
金田直道(ファゴット/OEK奏者)
モーツァルト:歌劇「劇場支配人」序曲 K.486
ハイドン:協奏交響曲 変ロ長調 op.84 Hob.I:105
ベートーヴェン:交響曲 第7番 イ長調 op.92

第494回 2025 **6.21** (土) 14:00
イェルク・ヴィトマン(指揮)
クラロン・マクファデン(ソプラノ)
メンデルスゾーン:弦楽のための交響曲 第13番 八短調「交響的断章」
ヴィトマン:フーガの試み(ソプラノ、オーボエと室内オーケストラ版)
ヴィトマン:メンデルスゾーンの結婚行進曲によるバラフレーズ
メンデルスゾーン:交響曲 第5番 二長調「宗教改革」 op.107

第497回 2025 **10.4** (土) 14:00
川瀬賢太郎(指揮/OEKパーマネント・コンダクター)
マトヴェイ・デミン(フルート) 高野麗音(ハープ)
種谷典子(ソプラノ)
モーツァルト:フルートとハープのための協奏曲 八長調 K.299
マーラー:交響曲 第4番 ト長調

VOL.1 2024 **11.16** (土) 14:00
宮川彬良(指揮・お話し)
クラシックから歌謡曲まで自由自在のOEKポップス

VOL.2 2025 **1.18** (土) 14:00
碓山隆一郎(指揮・お話し)
岩崎宏美、岩崎良美(ヴォーカル)
聖母たちのララバイ、タッチ ほか

VOL.3 2025 **5.15** (木) 19:00
川瀬賢太郎(指揮/OEKパーマネント・コンダクター)
角野隼斗(ピアノ)
石若 駿(ドラム)
グルダ:コンチェルト・フォー・マイセルフ ほか

VOL.4 2025 **7.19** (土) 14:00
広上淳一(指揮/OEKアーティストティック・リーダー)
大河のドラマ音楽 広上セレクション ほか



シリーズ会員、セレクト会員 募集中! オーケストラ・アンサンブル金沢 定期会員係 TEL 076-232-8571 (平日10:00-18:00)

石川県立音楽堂 オーケストラアンサンブル金沢

チケットのお求め 石川県立音楽堂チケットボックス (石川県立音楽堂1F) TEL 076-232-8632 (窓口) 9時~19時 (電話) 10時~18時

(公財) 石川県音楽文化振興事業団 石川県金沢市昭和町20-1 TEL 076-232-8111
アクセス: JR北陸線 金沢駅兼六園口(東口)徒歩1分 / 北鉄バス 金沢駅下車

石川県立音楽堂HP
https://www.ongakudo.jp



オーケストラ・アンサンブル金沢HP
https://www.oek.jp

